

## 心理職の国家資格化「前夜」

長谷川明弘(東洋英和女学院大学)

本稿では、心理職の国家資格に至るまでの50年を越える「高く険しい登頂の道程」をまとめました。執筆している2014年4月末の時点では、心理職の国家資格化に向けた法案上程に備えている段階となっています。順調に進んでいけば、本ニューズレターが皆さんのお手元に届いている頃には、「公認心理師法案要綱骨子(案)」から(案)が取り除かれていますと思われると思います。登頂して陽が昇ったら、どんな景色が眺められるでしょう。

さて、始めましょう。1962年に日本心理学会を中心とした19団体によって「心理技術者資格認定企画設立準備会」が立ち上げられました。1964年に資格問題を取り上げる学術団体として日本臨床心理学会が発足しました。1967年に「心理技術者資格認定委員会」が発足しました。しかし1969年に大学紛争の影響を受けるだけでなく組織内外の反発によって臨床心理学会が分裂して心理職の国家資格に関する検討が中断となりました。

1982年に、臨床心理学会から心理職の国家資格構想を持った理事が独立して心理臨床学会を創設しました(初代理事長:成瀬悟策)。1988年 心理臨床学会を中心とした関連12団体の協賛で「日本臨床心理士資格認定協会」が設立されました。1989年に「臨床心理士会」が発足しました。1990年代になって「臨床心理士」を大学院で養成するということが主流となり養成大学院「指定校制度」へ移行していきました。

そんな中、2004年に全国保健・医療・福祉心理機能協会(全心協)を中心とした「医療心理師国家資格制度推進協議会」が発足しました。2005年になって「医療心理師(仮称)国家資格法を実現する議員の会」がもたれました。これに応える形で2005年に臨床心理士側から「臨床心理職国家資格推進連絡協議会」が発足し、「臨床心理職の国家資格化を通じ国民のこころのケアの充実を目指す議員懇談会」が組織されました。2005年7月に文部科学省と厚生労働省を交えた協議を経た上で「臨床心理士及び医療心理師法案」提出に関する合意がまとまるが提出されないまま凍結となりました。この背景には、自民党と厚生労働部会の了承が得られなかったという説があります(医師側との折り合いがつかなかったようです)。

2000年前後から臨床心理士養成大学院指定校制に対して心理臨床学会以外の多くの心理学会(日本心理学会など)からの反発が生じていました。2005年前後からそれらを取りまとめていた心理学諸学会連合(諸学会連合)が、心理職の国家資格化に向けての積極的な活動をするようになりました。また臨床心理士に関連する組織は、臨床心理職国家資格推進連絡協議会(推進連)を設け、医療心理師を推進していた組織は、医療心理師国家資格制度推進協議会(医療協議会)を設けました。

2009年以降に3団体(推進連:22団体、医療協議会:25団体、諸学会連合:45団体)が心理職の国家資格に関する調整の中心となります。日本ブリーフサイコセラピーは、推進連と諸学会連合に所属しています。以下は日時を記して時間経過に沿って示します。

2011年10月2日:『三団体要望書』の確定・提出。

2012年3月27日:心理職の国家資格化を目指す院内集会在国会議事堂の一室で持たれました。

2012年6月14日:自民党の「心理職の国家資格化を推進する議員連盟」の立ち上げ(会長:河村建夫 会長代行:鴨下一郎、岸田文雄、幹事長(事務局):加藤勝信など)

- 2012年8月22日：民主党の「心理職の国家資格化を推進する民主党議員連盟」の立ち上げ(共同代表：高木義明、仙谷由人 事務局長：大塚耕平など)
- 2013年4月1日：一般財団法人日本心理研修センター設立
- 2013年6月11日：自民党「心理職の国家資格化を推進する議員連盟」第2回総会開催
- 2013年8月26日：日本心理臨床学会秋季大会資格問題シンポジウムに河村建夫議員が登壇)
- 2013年9月2日：一般財団法人日本心理研修センターが心理職の国家資格化に係る『試験・登録機関』に指定されることへの要望書を3団体関係団体に送付
- 2013年9月3日：日本心理臨床学会のカリキュラム案の呈示
- 2013年9月9日：臨床心理士資格認定協会より心理研修センター宛の文書
- 2013年9月19日：精神科七者懇談会より『心理職の国家資格化に関する提言』
- 2013年10月5日：第11回臨床心理士関係4団体会合(日本臨床心理士会、日本心理臨床学会、日本臨床心理士資格認定協会、日本臨床心理士養成大学院協議会)
- 2013年10月15日：精神科七者懇談会が「心理職の国家資格化に関する提言」を各方面に発送
- 2013年11月13日：国家資格制度早期実現団体署名及び日本心理研修センターが試験登録機関に指定されることへの賛同署名が議連会長、幹事長に提出されました
- 2013年11月13日：自民党「心理職の国家資格化を推進する議員連盟」第3回総会 臨床心理士資格認定協会がヒアリングされました
- 2013年12月15日：第12回臨床心理士関係4団体会合
- 2014年3月2日：日本心理研修センター設立1周年記念シンポジウム 河村建夫議員講演／理事会
- 2014年4月20日：第1回全国都道府県臨床心理士会会長、事務局担当者懇談会
- 2014年4月22日：自民党「心理職の国家資格化を推進する議員連盟」第4回総会 公認心理師法案要綱骨子(案)を承認
- 2014年4月23日：厚生労働部会において、心理職の国家資格化の法案についてヒアリング(自民党議連及び臨床心理士会から)が持たれました。
- 2014年4月27日：第13回臨床心理士関係4団体会合
- 2014年5月：通常国会にて「公認心理師法案要綱骨子」が上程されることが見込まれます。

以上です。

心理職の国家資格までの道程を改めて振り返ってみて如何でしょうか。私には、今が到達点ではなく、新しい登山が始まろうとしているように感じられます。どんな服装と装備をしてどのようなルートで進むのかを決めているところでしょう。

#### 〈参考文献〉

- 日本臨床心理学会 1988 日臨心の文書等 臨床心理学研究,25(3), pp.4-54.
- 丸山和昭 2009 臨床心理士-学術団体による養成体制の構築 橋本鉦市(編著) 専門職養成の日本的構造, 玉川大学出版部, pp.184-203.